

# 東広島市における 保育環境づくり



2024年2月29日



東広島市こども未来部保育課

# 東広島市の概要

面積：635.16km<sup>2</sup> 人口：190,565人 (R6年1月)

保育所（小規模含む） 41施設  
認定こども園 19施設  
幼稚園 8施設



平成30年4月時点で119人の待機児童

施設整備による保育の受け皿と保育士の確保を2本柱とする  
**「待機児童解消のための緊急対策プラン」**を  
策定

各種施策により…

令和2年4月に  
待機児童ゼロを達成

# ひがしひろしま乳幼児教育・保育アクションプラン

## <議論の開始>

R2：「これからの乳幼児教育・保育」 座談会（計3回）

座長：市長

メンバー：七木田教授（広島大学）、副市長、教育長、  
広島県乳幼児教育支援センター長

参加団体：市立、私立施設長など



## <座談会で得られた市の方向性>

- ・ 目指す乳幼児の姿や施策の方向性を関係者が共有
- ・ 幼児教育・保育における、より一層の質の向上

## <アクションプランの策定>

R3：東広島市子ども・子育て会議（教育・保育の質検討部  
会）で議論のうえで策定

# ひがしひろしま乳幼児教育・保育アクションプラン

【上位計画】第2期東広島市子ども・子育て支援事業計画 の基本理念

**つながる つなげる 育ちあいのまちづくり**

○本アクションプランの位置付け

第五次東広島市総合計画

> 第2期東広島市子ども・子育て支援事業計画

> **ひがしひろしま乳幼児教育・保育アクションプラン**

○計画期間 令和3年度～令和6年度（4年間）

○目的 **乳幼児期における教育・保育の質の向上**

# ひがしひろしま乳幼児教育・保育アクションプラン

## 1 目指す乳幼児の姿

とことんあそび 豊かに育つ こころとからだ

子どもを取り巻くすべての人たちの連帯により、子どもの健やかな成長を支え、共に育つ「つながる つなげる 育ちあいのまちづくり」の基本理念を基に、目指す乳幼児の姿を定めました。

- 人間形成の基盤となる乳幼児期に、子どもが興味・関心を持ち、とことん遊びこむことがとても大切
- 「身の周りのことから感じ取る力」や「人とかかわる力」、「困難を乗り越える力」、「自分の体の身のこなし方」、「考える力」などの力を育む。
- 目まぐるしく変化する現代社会を生き抜く力は、遊びを通してこそ培われる。
- 「遊び」は「学び」！

本市では子どもたちの遊びや活動の深まりを支えながら、育ちを見守ります。

### 【乳幼児期に育みたい5つの力】

感じる・気付く力

人とかかわる力

遊びをとおして  
総合的に育む

うごく力

やりぬく力

考える力

## 2 プランの基本目標

基本目標

1

ともに育つ地域をつくる（関係者との理解の共有・連携の促進）

教育・保育内容の見える化を進め、関係者が子ども観を共有するとともに、核となる人材の育成により、連携・連帯を促進します。また、保護者や地域住民とのつながりの中で、地域資源を活用しながら、一人一人が生きがいと役割を持って参画する地域共生による子育て支援を推進するとともに、保護者の子育て力の向上を図ります。

基本目標

2

みんなで育つ（施設における教育・保育実践の充実）

日々の教育・保育実践の充実を図るため、外部アドバイザーの助言等を活用し、園内での遊びを通じて、子どもの豊かなところとからだを育めるよう、保育室や園庭等の環境づくりに取り組みます。

基本目標

3

学び合う風土をつくる（職員間の相互理解・協働）

園内研修の充実等により職員同士が保育観・子ども観を共有し、互いに学び合う関係性を構築するため、施設長のマネジメント力強化等に取り組み、学び合う組織風土を醸成します。

基本目標

4

個をみがく（職員の資質・専門性の向上）

キャリアアップ研修機会の拡大や往還型による研修の実施等、実践に結び付くよう研修の内容を充実させることにより、職員個々のスキルアップを図り、教育・保育者としての資質・専門性を向上させ、情報発信できるように取り組みます。



### 3 目標達成に向けた主な取組み（1）

取組み	内容	基本目標との関連			
		ともに育つ 地域をつくる	みんなで 育つ	学び合う 風土をつくる	個をみがく
5つの力を育む 魅力ある保育環 境づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>○外部アドバイザーの助言等を活用し、保育室や園庭等のよりよい環境づくりに取り組む施設に対して支援を行います。</li> <li>○保護者や地域の協力も得ながら保育環境づくりを進めることにより、地域共生による子育て支援を促進するとともに、保護者の子育て力の向上を図ります。</li> <li>○保育環境づくりを通じて、職員間のコミュニケーションを促すとともに、子どもを主体とした保育・教育を語り合う気運を醸成します。</li> </ul> <p>&lt;目指す姿&gt; 5つの力を育む環境づくりが全施設の約6割で実施されています。 (R2) 未実施 ⇒ (R6) 37施設</p>	○	○	○	
自然保育の 推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○園内だけでなく、地域全体を教育・保育の実践の場として捉え、地域との協働も視野に入れ、本市ならではの豊かな自然を活用した保育を推進します。</li> <li>○広島県の「ひろしま自然保育認証制度」も活用し、自然保育の取組みが広がるよう啓発を行います。</li> </ul> <p>&lt;目指す姿&gt; 全市域にひろしま自然保育認証制度による認証施設があります。 (R2) 5施設 ⇒ (R6) 15施設</p>	○	○		
公開保育の 充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○公開保育を通して、施設での教育・保育実践のレベルアップを図ります。</li> <li>○多様な関係者が参画することで、公開保育がつながりの場となるように取組みを進めます。</li> </ul> <p>&lt;目指す姿&gt; 全市域で公開保育が実施されています。 (R2) 4地域 ⇒ (R6) 9地域</p>	○	○		○
保育コーディネ ーター※ の育成・連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>○専門機関や外部との連携において重要な役割を果たす保育コーディネーターを育成するとともに、保育コーディネーター同士のつながり・連携を促進します。</li> <li>○外部との連携だけでなく、園内における学び合いの風土づくりや職員間の連携についても保育コーディネーターの役割として位置付け、育成・連携を図ります。</li> </ul> <p>&lt;目指す姿&gt; 全施設へ保育コーディネーターが配置され連携が強化されています。 (R2) 52施設 ⇒ (R6) 全62施設に配置</p>	○		○	○

※保育コーディネーター：教育・保育の場、子育て支援の場、地域において、就学前の子どもや家庭が抱える課題に的確に対応し、解決に向けた取組みを行う中心的な役割を担う人材であり、東広島市独自の認定制度です。





# 3 目標達成に向けた主な取組み（2）

取組み	内容	基本目標との関連			
		ともに育つ 地域をつくる	みんなで 育つ	学び合う 風土をつくる	個をみがく
<u>子育てサポート研 修の改編</u>	<p>○キャリアアップ研修の充実により、専門性の向上と、職員の処遇改善につなげます。</p> <p>○広島県や広島県保育連盟連合会等が開催する研修も併せて活用することで、キャリアや目的に応じた内容が受講できる環境を整えます。</p> <p>&lt;目指す姿&gt; 市内で開催するキャリアアップ研修の充実 (R2) 1コース ⇒ (R6) 5コース</p>				○
<u>幼保小の連携</u>	<p>○公開保育・授業への相互参加や、合同研修等を通して連携を促進し、子どもの発達と学びの連続性について、円滑な接続を図ります。</p> <p>○小学校就学に際し、常時連携が取れるような仕組みづくりを検討します。</p> <p>&lt;目指す姿&gt; 全小学校区で、幼保小接続カリキュラムの編成・実施が行われています。 (R1)38施設でアプローチカリキュラム編成 ⇒ (R6) 全59施設でカリキュラム編成・実践</p>	○			○
<u>施設長研修</u>	<p>○対話による語り合いによってお互いを高める組織文化や、マネジメントの重要性について、施設長研修を実施し、組織としての力を高めています。</p> <p>&lt;目指す姿&gt; 施設長のマネジメント力が向上し、学び合う組織文化が醸成されています。 (R2) 未実施 ⇒ (R6) 全62施設の研修参加</p>			○	○
<u>積極的な 情報発信</u>	<p>○各施設が自らの「よさ」を発見し、ホームページ等を通じて積極的に情報発信していきます。</p> <p>○情報発信を行うことにより、より良い教育・保育や子育ての在り方を保護者や地域と共に考える機会とし、保護者の子育て力向上や、地域共生による子育て支援をします。</p> <p>&lt;目指す姿&gt; 全施設でホームページ等による教育・保育の見える化が図られています。 (R2) 29施設 ⇒ (R6) 全62施設</p>	○	○	○	○
<u>取組み内容 の評価</u>	<p>○保護者アンケートを実施し、その結果を公表することにより教育・保育の見える化を推進します。</p> <p>○職員や外部アドバイザー等による評価を行い、取組み内容の改善を図っていきます。</p> <p>&lt;目指す姿&gt; 様々な取組みを評価する手法が確立され、PDCAサイクルが回っています。 (R2) 未実施 ⇒ (R6) 評価方法の確立・運用</p>	○	○	○	○



# ひろしま自然保育認証施設

## 市立（4か所）

中黒瀬保育所、河内西保育所、三津保育所  
暁保育所

## 民間（4か所）

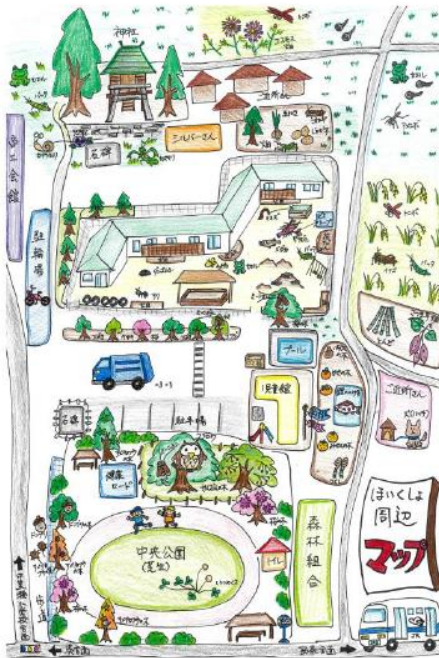
認定こども園さざなみの森、認定こども園みどりがおか  
ようちえん、東広島シュタイナーこども園さくら、麦わ  
らぼうしこどもえん

## 国立（1か所）

広島大学附属幼稚園

# 中黒瀬保育所 (R4認証)

保育所の周辺には  
豊かな自然がたくさん



龍王山総合公園



平和神社



黒瀬中央公園

# 中黒瀬保育所（R4認証）

保育環境  
自然との出会いは主体的な姿がたくさん



# 河内西保育所（R4認証）

そもそも保育所の周りは自然だらけ・・・  
自然に抱かれた保育所（山、川、田んぼ）



# 5つの力を育む魅力ある保育環境づくり

－東広島市独自事業－

年度	施設数	事業費
令和3年度	9施設(公立4、私立5)	536万9千円
令和4年度	17施設(公立9、私立8)	821万6千円
令和5年度	26施設(公立12、私立14)	(予算額)1,772万2千円

# 魅力ある保育環境づくりを始めて良かったこと

## (現場からの声…中黒瀬保育所)

保育を問い直す  
ことにつながる

- 環境が変われば、保育が変わる！を実感
- 保育者が安心して、子どもを見守る、子どもの育ちを捉えることができるようになった。
- 子どもと一緒に楽しい！と思えるようになった。  
(保育者の心もちに変化が！)
- 職員間の対話の機会が増えた。
- ワークショップを行う中で、職員、保護者、地域との繋がりを感ずることができた。
- 「失敗したかな？」 「ちょっとこれは～そうかな？」ということがあっても、また、作り直せる。

# ポスターセッション(R6.2.17)

## -施設間の取組み共有(26施設)-

5つの力を育む魅力ある保育環境づくり

令和5年度

### 東広島市立中黒瀬保育所

ワークショップで取り組んだ薬山滑り台づくり  
子どもの笑顔と遊びが広がり、保育士の子どもを見守る姿勢や  
声のかけ方に対する考えも変わってきました！

#### 保育環境づくりのポイント

昨年から課題だったのはグラウンドのような園庭です。子どもはもちろん、保育士も安心できる環境、また挑戦したくなる環境を作りたい！これが今年度のテーマでした。そして話し合っ中「薬山滑り台」計画がスタートしました。今回の最大のポイントは自所の職員と保護者だけでなく、東広島市内全園・所を巻き込む「ワークショップ」を実施したこと。自所のメリットはもちろんのこと、参加者が環境づくりを体験し、作業を通じて交流や意見交換が行えたことは相互にとてもメリットとなり、成果となったと思います。

～こどもたちの力を育みたい～

感じる・気付く力 聞く力 考える力  
回す力 回す力 人とかかわる力

#### 取組み内容

5つの力を育む魅力ある保育環境づくり

令和5年度

### 青雲保育園

安心・安全な環境作り・まずは土の改良から！！

#### 保育環境づくりのポイント

今年度からスタートした保育環境作り。初めは「テーブルと椅子が作りたい」「バーゴラを作りたい」等、たくさんの想いがありました。しかし、8月に木村先生の研修を受け「安心で安全な保育環境作り」を基盤に取り組みうと決めました。そこでケガの多い遊具（ブランコ・鉄棒）の下の土の改良から始めることになりました。保護者にも協力をしていただきました。作業をしながら、子ども達の様子、保育環境のこと等を話さず中「子ども達の“やりたい”を大事にしている私たちがいる」を理解していただける機会になりました。来年度も保護者と共にこの取組みを続けていきたいと考えています。

～こどもたちの力を育みたい～

感じる・気付く力 聞く力 考える力  
回す力 回す力 人とかかわる力

#### 取組み内容

5つの力を育む魅力ある保育環境づくり

### 認定こども園 みどりがおかようちえん

本音で話して、自分ができるとしたいことから！

#### 保育環境づくりのポイント

環境整備が3年目となり、たしかな目に見える環境は変わってはいけれど、肝心の職員を取り巻く空気が変わっていないのではないかと、担当等としてはやきもきしながら始まった今年度でした。  
私たちは環境整備を通して、何を考えていきたいんだろう？と色々と考えて行きつたのびつなびつコミュニケーションをしました。正副園長、パート職員も選りすぐってのミーティングをたくさん重ね、全職員にアンケートをとり、みんなで見守りしていきたい。保育環境作りが、本村先生の研修があるべく全職員が少くとも参加して、いろいろな人の気づきや子ども達の声を聞きながら進んでいって1年間でした。保護者も、子どもも、職員も関心をもれぞれが持ちやり、機会や興味する日をくりくり、少しずつ多くなりました。

～こどもたちの力を育みたい～

～いろいろな場面でみんながつかいこなす～

感じる・気付く力 聞く力 考える力  
回す力 回す力 人とかかわる力

#### 取組み内容

こちらで公開中

<https://www.city.higashihiroshima.lg.jp/soshiki/kodomomirai/2/hoikunositsu/32236.html>





# 取組みのポイント

- ハードの環境変化がソフトの環境も変える  
保育者が最も大切な保育環境の1つ

- 対話の重要性

子ども ↔ 子ども

子ども ↔ 保育者

保育者 ↔ 保育者

保護者 ↔ 保育者

子ども ↔ 保護者